

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 11 巻第 19 号

第 19 週(5月 9日 ~ 5月15日)

発行年月日:平成23年(2011年) 5月18日

発行 : 滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話:077-537-7438 FAX:077-537-5548

今週の感染症発生動向

インフルエンザは、大幅に減少
咽頭結膜熱(プール熱)および水痘は、増加傾向

一類～五類全数報告感染症の発生状況(第19週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 4名**
- ・三類感染症---報告はありません
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---**梅毒 1名**(早期顕症梅毒)、**クロイツフェルト・ヤコブ病 1名**
風しん 1名(検査診断例、ワクチン接種歴は不明)
- ・動物の感染症---**細菌性赤痢(サル) 4例**

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(671名)よりさらに減少し、今週は607名となっています。特に、インフルエンザで大幅に減少し、先週の約60%減となっています。今週、増加した疾患は咽頭結膜熱(プール熱)、水痘、流行性角結膜炎等で、減少した疾患はインフルエンザ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警 報----手足口病 (警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00)

伝染性紅斑(リンゴ病) (警報開始基準値 2.00、警報終息基準値 1.00)

注意報----水痘 (注意報発生基準値 4.00)

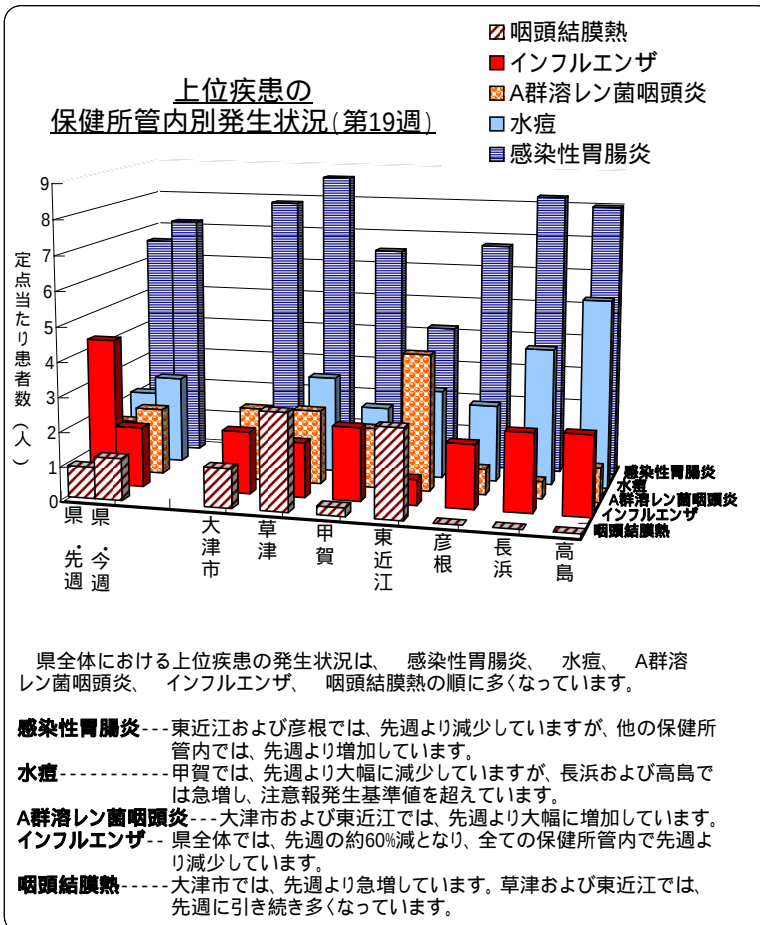
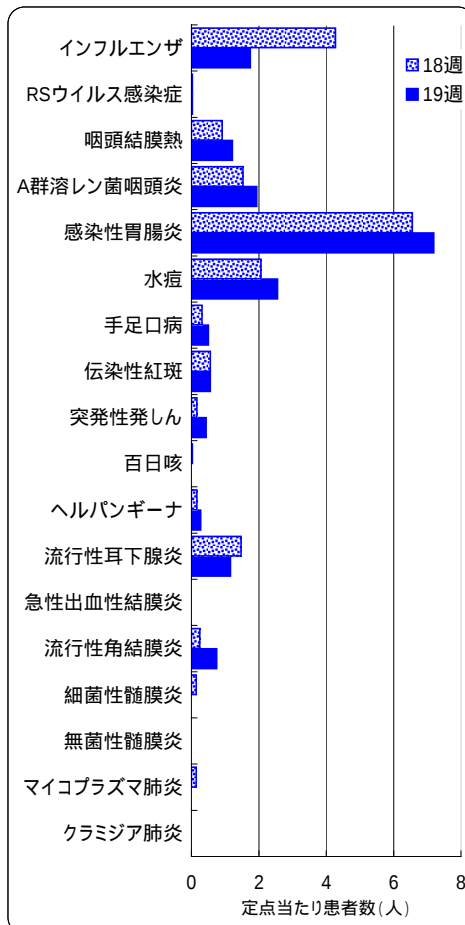
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) (注意報発生基準値 3.00)

高島保健所管内

大津市保健所管内

長浜および高島保健所管内

彦根保健所管内



県全体における上位疾患の発生状況は、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、インフルエンザ、咽頭結膜熱の順に多くなっています。

感染性胃腸炎---東近江および彦根では、先週より減少していますが、他の保健所管内では、先週より増加しています。

水痘-----甲賀では、先週より大幅に減少していますが、長浜および高島では急増し、注意報発生基準値を超えています。

A群溶レン菌咽頭炎---大津市および東近江では、先週より大幅に増加しています。**インフルエンザ**---県全体では、先週の約60%減となり、全ての保健所管内で先週より減少しています。

咽頭結膜熱----大津市では、先週より急増しています。草津および東近江では、先週に引き続き多くなっています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成23年 累積報告数		平成22年 累積報告数 ^{(*)1}		平成21年 累積報告数 ^{(*)2}	
		滋賀 (19週)	全 国 ^{(*)3} (18週注)	滋賀	全 国 ^{(*)3}	滋賀	全 国 ^{(*)3}
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	110	9,043	251 ^{**}	26,704	256	26,996
三 類 感 染 症	コレラ	0	1	0	11	1	16
	細菌性赤痢	2	67	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	0	288	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	10	1	21	0	27
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	23	0	66	1	56
	A型肝炎	0	112	3	346	0	115
	オウム病	0	7	1	11	0	21
	つつが虫病	0	45	2	406	0	465
	デング熱	1	33	2	245	0	93
	マラリア	0	17	0	76	0	56
	レジオネラ症	4	169	10	751	8	717
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	1	249	7	845	10	786
	ウイルス性肝炎	1	76	3	222	3	223
	急性脳炎	0	124	1	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	35	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	79	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	1	438	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	0	23	1	80	0	70
	梅毒	3	214	9	621	3	691
	破傷風	1	24	0	106	3	113
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	19	2	121	0	116
	風しん	2	90	5	89	2	147
	麻疹	0	206	1	455	7	732
新型インフルエンザ 等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^{(*)4}	0	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	4	3	0	59	0	34

^{**}：平成22年分の最終確認の結果、252→251に訂正しました。

注：19週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

^{*}1：感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

^{*}2：感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

^{*}3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

^{*}4：感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間：平成21年7月24日～8月24日)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。
(患者報告数 = 定点当たり患者数 × 定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成23年第14週～19週、4/4～5/15)

定点区分	定点 数	疾 患 名	定点当たり患者数 (↑ 前週より増加 → 前週と同じ ↓ 前週より減少)										
			14週	15週	16週	17週	18週	19週	週				
			4/4 ~	4/11 ~	4/18 ~	4/25 ~	5/2 ~	5/9 ~	15	16	17	18	19
インフルエンザ	53	インフルエンザ	4.92	4.49	6.06	7.23	4.28	1.75	↓	↑	↑	↓	↓
小児科	32	RSウイルス感染症	0.16	0	0.16	0.25	0.03	0.03	↓	↑	↑	↓	→
		咽頭結膜熱(プール熱)	0.50	0.59	0.47	0.69	0.91	1.22	↑	↓	↑	↑	↑
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.19	1.66	2.72	2.56	1.53	1.94	↑	↑	↓	↓	↑
		感染性胃腸炎	7.31	7.59	9.34	8.31	6.56	7.19	↑	↑	↓	↓	↑
		水痘	1.72	0.97	1.69	1.31	2.06	2.56	↓	↑	↓	↑	↑
		手足口病	0.19	0.25	0.19	0.59	0.31	0.50	↑	↓	↑	↓	↑
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.81	0.78	1.22	1.38	0.56	0.56	↓	↑	↑	↓	→
		突発性発しん	0.94	0.69	0.69	0.56	0.16	0.44	↓	→	↓	↓	↑
		百日咳	0	0	0	0	0.03	0	→	→	→	↑	↓
		ヘルパンギーナ	0	0.03	0.13	0.28	0.16	0.28	↑	↑	↑	↓	↑
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.34	1.44	1.25	1.41	1.47	1.16	↑	↓	↑	↑	↓
眼科	8	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		流行性角結膜炎	0.13	0	0.50	0.13	0.25	0.75	↓	↑	↓	↑	↑
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0.14	0	→	→	↑	→	↓
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	0	0.14	0	→	↑	↓	↑	↓
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第19週、5/9～5/15)

疾 患 名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県)			
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島				
インフルエンザ	1.75	1.82	1.60	2.14	0.75	1.86	2.29	2.33				
RSウイルス感染症	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0				
咽頭結膜熱(プール熱)	1.22	1.14	2.83	0.25	2.60	0	0	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.94	2.14	2.17	1.75	4.00	0.75	0.50	1.00				
感染性胃腸炎	7.19	7.86	8.67	6.50	4.20	6.75	8.25	8.00				
水痘	2.56	1.14	2.83	2.00	2.60	2.25	4.00	5.50				
手足口病	0.50	0	0	0	0	0.50	0.25	6.50				
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.56	1.14	1.00	0	0.40	0	0.50	0				
突発性発しん	0.44	0	1.67	0.50	0.20	0	0.25	0				
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0				
ヘルパンギーナ	0.28	0	0	0	0	0	0.25	4.00				
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.16	1.00	1.00	0.25	0.60	4.00	1.00	0				
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
流行性角結膜炎	0.75	1.50	0	1.00	0	0	0	2.00				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0				

赤・太字

青緑・太字

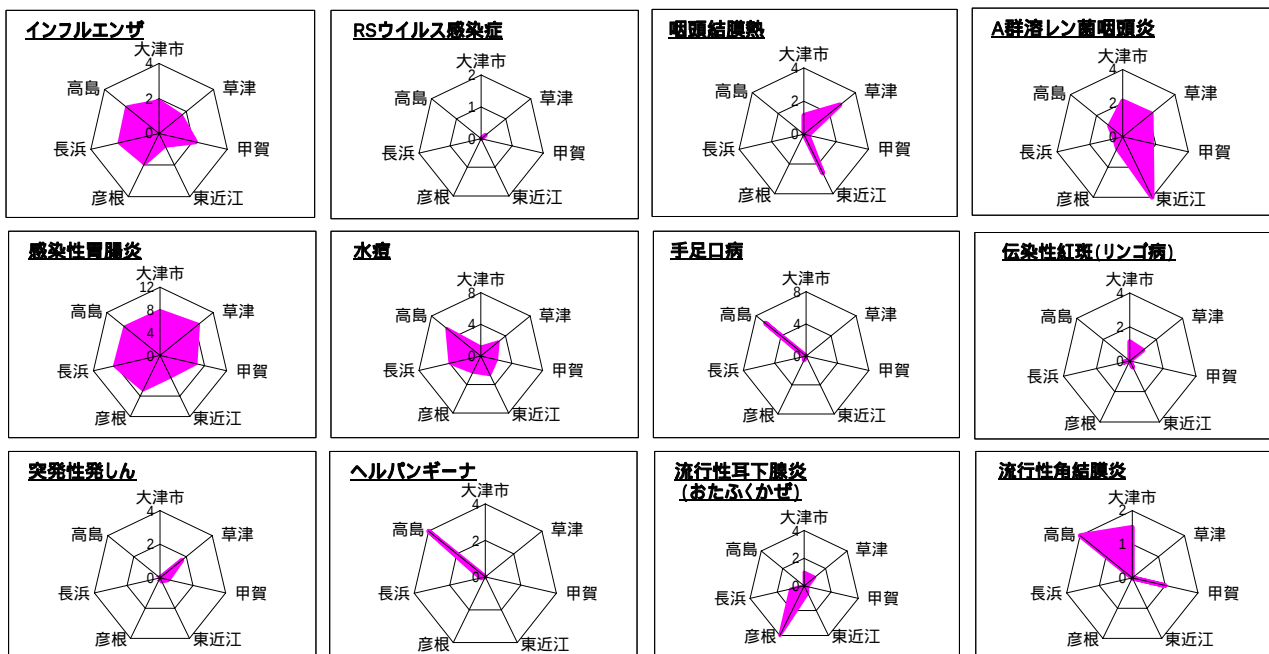
は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

は注意報発生基準値を超えています。

02468

定点当たり患者数(人)

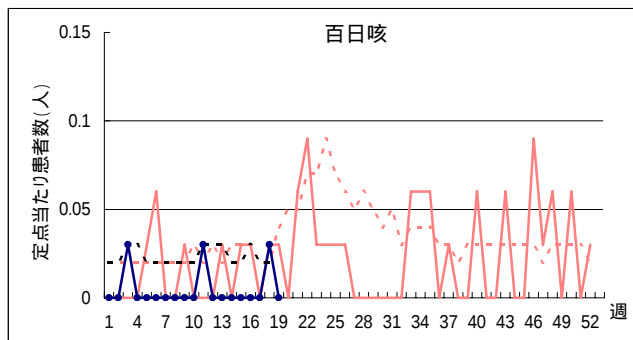
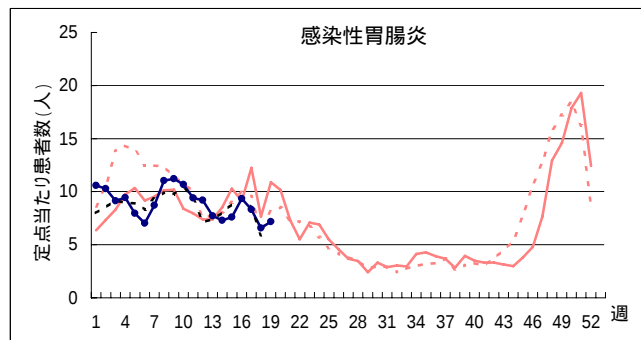
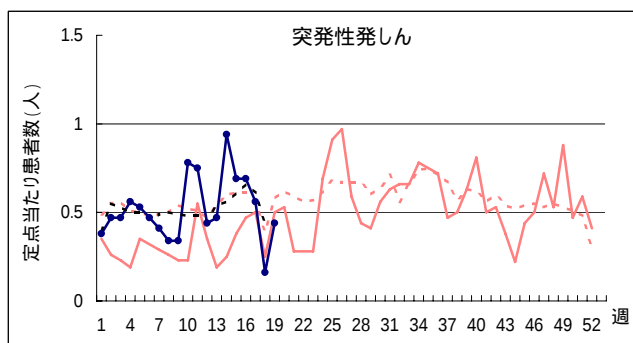
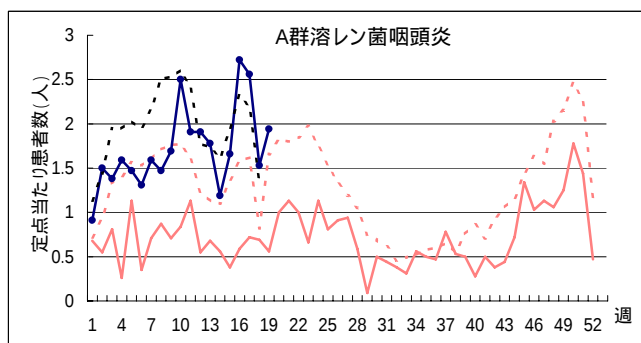
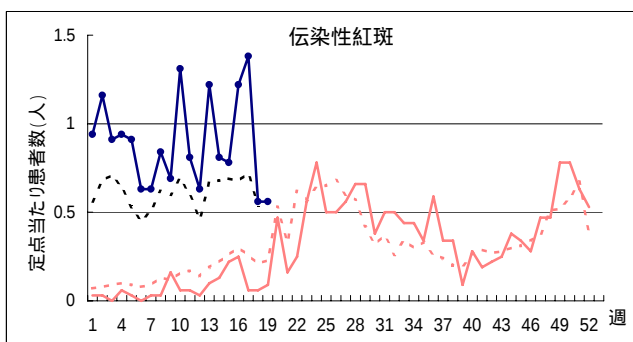
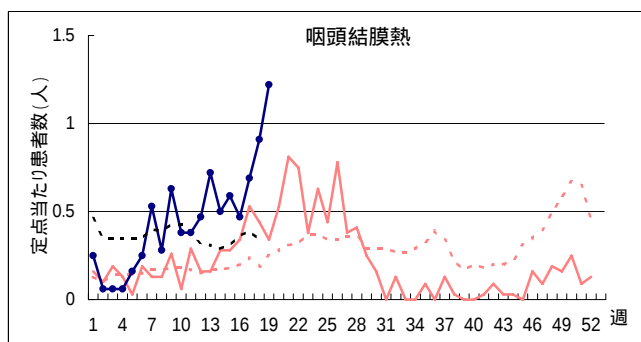
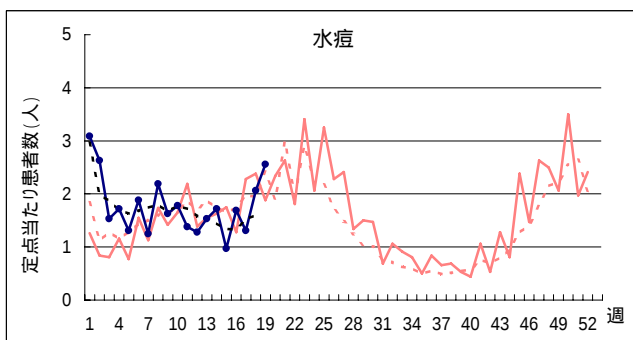
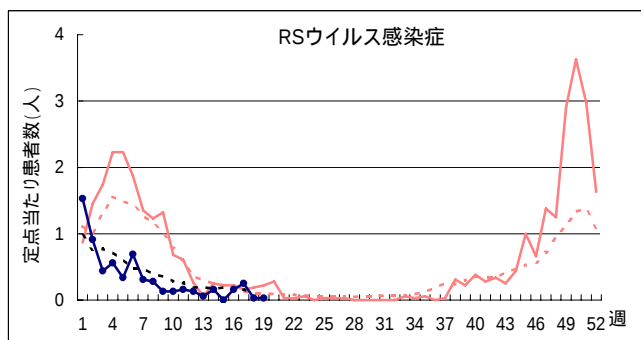
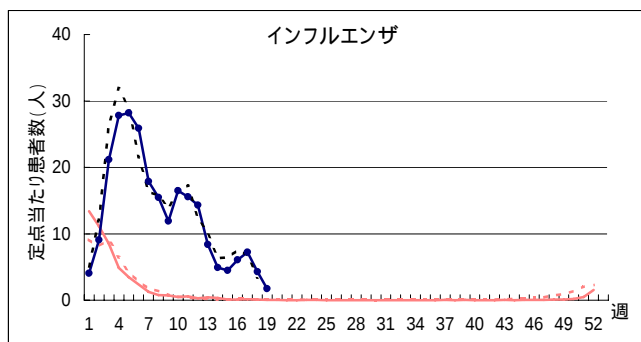
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

- A群溶レン菌咽頭炎-----大津市、草津および東近江保健所管内からの報告が多くなっています。県全体の年齢群別発生割合は、4歳および6歳で多くなっています。
- 水痘-----県全体の年齢群別発生割合では、1～4歳で全体の約80%を占めています。また、第7～19週(2/14～5/15)の発生状況は、昨年とほぼ同様の発生状況となっています。
- 伝染性紅斑-----県全体では、先週と横ばいとなっています。大津市保健所管内では、先週より減少しているものの、引き続き警報終息基準値(定点当たり患者数 1.00)を超えています。
- 突発性発しん-----草津保健所管内で大幅に増加しています。
- 手足口病-----県全体の年齢群別発生割合は、3歳以下が全体の約90%を占めています。
- ヘルパンギーナ-----高島保健所管内では、先週よりさらに多くなっています。
- 流行性耳下腺炎-----甲賀、東近江および長浜保健所管内では、先週より大幅に減少しています。彦根保健所管内では、先週より増加し、引き続き注意報発生基準値(定点当たり患者数 3.00)を超えています。また、県全体の年齢群別発生割合は、3歳および5歳で多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～19週、H23.1.3～H23.5.15)



疾病別定点当たり患者数(平成23年第 1 ~ 19 週、H23.1.3 ~ H23.5.15)

